

東京大学大学院総合文化研究所 集中講義 生命と尊厳 II 8号館-320 (2-5 講時)

講義目的：ケアの倫理が登場してきた歴史的背景（フェミニズム運動とのつながり）を理解しながら、ケアの倫理に対する批判、そして、現在のケアの倫理の社会理論としての射程を展望する。

以下のテキストを中心に講義・議論を行いますので、講義前に読んできてください。講義は、前半は講義形式、テキストの*について、学生の報告（30-40分程度）と議論、その後はその他のテキストに関して、議論・質疑応答を行います。

講義内容

12月23日（水曜）

講義 「ケアの倫理」の歴史的背景・ウーマンリブという時代とラディカル・フェミニズム

テキスト

- ・上野千鶴子『家父長制と資本制——マルクス主義フェミニズムの地平』（岩波現代文庫、2009年）、第一章、第二章、第三章
- ・ナンシー・コット「平等権と経済的役割」カーバー・ドゥハート（編）『ウイメンズ・アメリカ 論文編』
- ・シュラミス・ファイアーストン『性の弁証法』第一章、第二章、結論
- *ゲイル・ルービン「女たちによる交通」『現代思想』vol.28(2) (2000)

12月24日（木曜）

講義 ギリガン『もうひとつの声』再読——マルクス主義フェミニズム・再生産労働の発見から、ギリガンへ

テキスト

- *ギリガン『もうひとつの声』第一章、第二章、第三章（65-6頁が欠落しています）
- ・山根純佳「「ケアの倫理」と「ケア労働」」『ソシオロギス』no.29 (2005).
- ・岡野八代「フェミニズムとケア——つながりから社会正義へ」川崎修（編）『政治哲学と現代』

12月25日（金曜）

講義 「ケアの倫理」の射程——社会正義との関係から

テキスト

- ・ Tronto, Joan. 2005 “Care as the Work of Citizens: A Modest Proposal” in ed. by M. Friedman, *Women and Citizenship* (Oxford: Oxford University Press).
- * Fiona Robinson, 2011 *The Ethics of Care: A Feminist Approach to Human Security Philadelphia* (Temple University Press), chap.1.
- ・ 岡野八代『戦争に抗する——ケアの倫理と平和の構想』（岩波書店、2015年）、第一章、intermission、第十章

注

- ・ なお、上野千鶴子『家父長制と資本制』、岡野八代『戦争に抗する』については、各自でテキストを準備してください。その他は、pdfにて事前配布します。
- ・ テキストの*については、どなたかレジユメを作成し、報告していただきたいと思います。